

## 1 非公開種の選定について

今回調査(専門調査及び市民調査)、並びに文献調査(船橋大神宮調査結果、三番瀬調査結果)において新たに見つかった下記表の△にあたる種について、情報公開範囲の案をまとめました。

また、第3回検討委員会終了後の意見収集でいただいた意見を検討案へ反映いたしました。

なお、第3回検討委員会においては、前々回調査および冬季、春季、夏季専門調査にて確認された重要種について確認を行いました。

表 自然環境調査における情報公開範囲の設定(前回調査)

情報の 精度	情報公開 範囲	植物			動物	
		環境省 RL 絶滅危惧 II 類 もしくは 千葉県 RDB 要保護生物 (C)		ラン科 及び ユリ科 の重要 種	環境省 RL 絶滅危惧 II 類 もしくは 千葉県 RDB 要保護生物 (C)	
		以上	未満		以上	未満
高	確認された地点 が分かる情報 ・図面上に確認地 点を明示等	×	×	×	×	×
中	確認された地域 が分かる情報 ・地域別種リスト 等	×	△	×	△	△
低	今回の調査全体 で確認されたか どうか分かる 情報 ・18 地域全体の確 認種リスト等	○	○	○	○	○

※表中の記号の意味は以下のとおりである。

○…公開

△…自然環境調査検討委員会による選定を受けた種を除き公開

×…非公開

凡 例	
●	前々回調査及び前回調査において、確認された調査地域について非公開とされた種
非	今回新たに確認された種のうち、 <b>確認された調査地域について非公開</b> とする種
△	今回新たに確認された種のうち、 <b>確認された調査地域について公開</b> とする種

4 ページ以降において記載しています、非と△の印がついた種の情報公開範囲について、ご検討をお願いいたします。

なお、確認された調査地域について非公開とした種の選定基準は以下のとおりです。

- ・植物は環境省 RL 絶滅危惧 II類もしくは千葉県 RDB 要保護生物(C)以上の種、ラン科及びユリ科の重要種
- ・前回調査において、委員指摘により非公開とされた種と同様の生態（生息環境）を持つ種
- ・マニア等により盗掘・採集の恐れのある種
- ・愛好家による写真撮影等の行為により、繁殖等に影響が及ぶ恐れのある種（主に鳥類）

そのほか、市民調査でのみ確認された種については詳細な位置情報はなく、調査地域単位での情報となります。

## 2 委員から受領した意見

本項では、各分類群ごとに委員等から頂いた意見を示します。

なお、委員からの御助言に基づき、千葉県立中央博物館へ種の公開・非公開についての意見を別途伺いました。

### 2.1 植物

植物については意見をいただいております。

### 2.2 鳥類

鳥類については、以下の意見をいただきました。

- ☆ クイナについては非繁殖期の確認であれば非公開とする必要はないため、公開可能であるとする。（千葉県立中央博物館）

### 2.3 哺乳類

哺乳類については意見をいただいております。

### 2.4 両生類

両生類については意見をいただいております。

## 2.5 爬虫類

爬虫類については意見をいただいております。

## 2.6 昆虫類

昆虫類については意見をいただいております。

## 2.7 魚類

魚類については意見をいただいております。

## 2.8 底生動物

底生動物については意見をいただいております。

植物

No.	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				市民	非公開
						①	②	③	④		
1	ミズニラ	ミズニラ	<i>Isoetes japonica</i>	●				NT			●
2	イワヒバ	イヌカタヒバ	<i>Selaginella moellendorffii</i>	●				(VU)			△
3		カタヒバ	<i>Selaginella involvens</i>	●					C	●	●
4	マツバラシ	マツバラシ	<i>Psilotum nudum</i>	●				NT	A		●
5	チャセンシダ	コバノヒノキシダ	<i>Asplenium anogrammoides</i>	●					D		
6	オンダ	オンダ	<i>Dryopteris crassirhizoma</i>	●					C		●
7	マツ	ゴヨウマツ	<i>Pinus parviflora</i>	●					A	●	●
8	ヒノキ	イブキ	<i>Juniperus chinensis</i> var. <i>chinensis</i>	●					(C)		
9	スイレン	コウホネ	<i>Nuphar japonica</i>	●					B		●
10	モクレン	シデコブシ	<i>Magnolia stellata</i>	●				(NT)		●	
11	クスノキ	ニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>	●				(NT)			
12	センリョウ	センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i>	●					(D)		●
13	サトイモ	ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i>	●					A	●	●
14	オモダカ	アギナシ	<i>Sagittaria aginashi</i>	●				NT	C		●
15		サジオモダカ	<i>Alisma plantago-aquatica</i> var. <i>orientale</i>	●					B		●
16	ヒルムシロ	ササバモ	<i>Potamogeton wrightii</i>	●					D		
17		ヤナギモ	<i>Potamogeton oxyphyllus</i>	●					D		
18		リュウノヒゲモ	<i>Stukenia pectinata</i>	●				NT	C		非
19	ユリ	アマナ	<i>Amana edulis</i>	●					D		●
20		スカシユリ	<i>Lilium maculatum</i>	●					(C)		●
21		ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i> var. <i>auratum</i>		●						
22		カタクリ	<i>Erythronium japonicum</i>	●					C	●	●
23		コオニユリ	<i>Lilium leichlinii</i> f. <i>pseudotigrinum</i>	●					C		●
24		タイワンホトトギス	<i>Tricyrtis formosana</i>	●				(VU)			△
25	ラン	クゲヌマラン	<i>Cephalanthera longifolia</i>	●				VU	B		●
26		エビネ	<i>Calanthe discolor</i>	●	●			NT	D		●
27		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i>	●	●			NT	D		●
28		ギンラン	<i>Cephalanthera erecta</i>	●					D		●
29		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	●					C		●
30		コ克蘭	<i>Liparis nervosa</i>								●
31		サイハイラン	<i>Cremastra appendiculata</i>	●					C		●
32		サガミラン	<i>Cymbidium nipponicum</i>	●				NT	C	●	●
33		マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i>	●				VU	C		●
34		ササバギンラン	<i>Cephalanthera longibracteata</i>	●					D		●
35		シラン	<i>Bletilla striata</i>	●				(NT)	(D)		●
36		タシロラン	<i>Epipogium roseum</i>	●				NT	C		●
37		ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>								●
38	アヤメ	アヤメ	<i>Iris sanguinea</i>	●					B	●	●
39	ヒガンバナ	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> var. <i>japonicum</i>	●					(B)	●	
40	クサスギカズラ	オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>	●					D	●	
41		ワニグチソウ	<i>Polygonatum involucreatum</i>	●					B		●
42	ミズアオイ	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i>	●				NT	D	●	●
43	ガマ	ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	●				NT	D		●
44	ホシクサ	クロヒロハイヌノヒゲ	<i>Eriocaulon robustius</i> var. <i>nigrum</i>	●					C		●
45	カヤツリグサ	イトアオスゲ	<i>Carex puberula</i>	●					C		●
46		オオアゼテンツキ	<i>Fimbristylis bis-ambellata</i>	●					C		●
47		ヤブスゲ	<i>Carex rochebrunei</i>	●					C		●
48	イネ	オオアブラススキ	<i>Spodiopogon sibiricus</i>	●					D		
49		オオニワホコリ	<i>Eragrostis pilosa</i>	●					D		
50		ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i>	●					C		●
51		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>		●						
52		セイタカヨシ	<i>Phragmites karka</i>	●					C		●
53		ヒメウキガヤ	<i>Glyceria depauperata</i>	●					D		
54	ケン	ヤマブキノソウ	<i>Hylomecon japonica</i>	●					A		
55	メギ	イカリソウ	<i>Epimedium grandiflorum</i> var. <i>thunbergianum</i>	●					D		●
56	キンポウゲ	カザグルマ	<i>Clematis patens</i>	●				NT	B	●	●
57		セリバオウレン	<i>Coptis japonica</i> var. <i>dissecta</i>	●					B		●
58	マンサク	トサミズキ	<i>Corylopsis spicata</i>	●				(NT)			
59	カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	●					B		●
60	スグリ	ヤブサンザシ	<i>Ribes fasciculatum</i>	●					B		●
61	マメ	サイカチ	<i>Gleditsia japonica</i>	●					D	●	
62		マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>	●					D		
63	バラ	エドヒガン	<i>Cerasus itosakura</i>	●					A	●	●
64		シロヤマブキ	<i>Rhodotypos scandens</i>	●				(EN)		●	
65		ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>	●					D	●	
66	クロウメモドキ	クロウメモドキ	<i>Rhamnus japonica</i> var. <i>decipiens</i>	●					B		非
67	イラクサ	シマナガバヤブマオ	<i>Boehmeria egregia</i>	●					B		非
68		トキホコリ	<i>Elatostema densiflorum</i>	●				NT	B		非
69	ブナ	ウバメガシ	<i>Quercus phillyreoides</i>	●					(B)		
70		カシワ	<i>Quercus dentata</i>	●					(C)		
71	クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>	●					D		

72	カバノキ	アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>	●					D		
73		ハンバミ	<i>Corylus heterophylla</i> var. <i>heterophylla</i>	●					D		
74		エゾタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>						D		△
75	ヤナギ	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i>	●					(D)		
76		バッコヤナギ	<i>Salix caprea</i>	●					D		
77		オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>	●					D		
78	アカバナ	ウスゲチョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> subsp. <i>greatrexii</i>	●				NT			
79		ムクゲアカバナ	<i>Epilobium parviflorum</i>	●					B		●
80	ムクロジ	ハナノキ	<i>Acer pycnanthum</i>	●					(VU)	●	△
81	アオイ	ハマボウ	<i>Hibiscus hamabo</i>	●					B	●	●
82	アブラナ	イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>	●					C		●
83		コカイタネツケバナ	<i>Cardamine kokaiensis</i>	●				NT			
84	アジサイ	イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>	●							●
85	ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>	●					C		●
86	サクラソウ	ノジトラノオ	<i>Lysimachia barystachys</i>	●				VU	C		●
87	リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>	●					D	●	
88	ツツジ	ミツバツツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i> var. <i>dilatatum</i>	●					D	●	
89	アカネ	ハクチョウゲ	<i>Serissa japonica</i>	●				(VU)			
90		ヤブムグラ	<i>Galium newerthii</i>	●				VU	B		●
91	キョウチクトウ	フナバラソウ	<i>Cynanchum atratum</i>	●				VU	B		●
92	ヒルガオ	アオイゴケ	<i>Dichondra micrantha</i>	●					B		非
93	モクセイ	ヒトツバタゴ	<i>Chionanthus retusus</i>	●				(VU)		●	△
94	オオバコ	イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i> var. <i>lilacina</i>	●				VU			●
95		カワヂシャ	<i>Veronica undulata</i>	●				NT			
96		ミズハコベ	<i>Callitriche palustris</i>	●					C		非
97	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	<i>Scrophularia buergeriana</i>	●				VU	C		●
98	シソ	コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i>	●					(C)		
99		ヒメナミキ	<i>Scutellaria dependens</i>	●					D		
100		ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>		●						
101	モチノキ	ウメモドキ	<i>Ilex serrata</i>	●					C		●
102	キキョウ	ヒナギキョウ	<i>Wahlenbergia marginata</i>	●					B	●	●
103	ミツガシワ	ガガブタ	<i>Nymphoides indica</i>	●				NT	C		●
104	キク	タカアザミ	<i>Cirsium pendulum</i>	●					D		△
105		オグルマ	<i>Inula japonica</i>	●					D		
106		カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i> var. <i>platycarpum</i>		●						
107		センダングサ	<i>Bidens biternata</i> var. <i>biternata</i>	●					D		
108		フジバカマ	<i>Eupatorium japonicum</i>	●				NT	C	●	●
109		ヌマダイコン	<i>Adenostemma lavenia</i>	●					D		△
110	ガマズミ	トキワガマズミ	<i>Viburnum japonicum</i> var. <i>boninsimense</i>	●				(VU)			△
111	セリ	ヌマゼリ	<i>Sium suave</i> var. <i>nipponicum</i>	●				NT	C		●
112	ウキゴケ	イチョウウキゴケ	<i>Ricciocarpos natans</i>	●	●			NT	D		非
113	シャジクモ	シャジクモ	<i>Chara braunii</i>	●	●			VU	B		非
計	62科		113種	106種	8種	0種	0種	37種	92種	22種	74種

注1. 種名、科の配列は、山ノ内崇志・首藤光太郎・大澤剛士・米倉浩司・加藤 将・志賀 隆。(2019)「維管束植物和名チェックリストver. 1.10」に主に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。なお、植栽・逸出種と思われる種については、選定基準記号に ( ) をつけて重要種としてカウントしない。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「第5次レッドリスト(植物・菌類)の公表について(お知らせ)」(2025年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧II類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県レッドデータブック 植物・菌類編2023年版」(2025年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

⑤今回指標種

●:該当種

\**Sparganium*(ミクリ)属の一種は、「千葉県の自然誌」によると県内には、オオミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリ、ヤマトミクリ、ミクリの5種あるとされる。

種ごとの重要種カテゴリーは以下の通り、

県内ミクリ属の重要種カテゴリー			
種名	学名	環境省 RDB2025	千葉県 RDB2023
ミクリ	<i>Sparganium erectum</i>	NT	D
オオミクリ	<i>Sparganium erectum</i> var. <i>macrocarpum</i>	VU	B
ナガエミクリ	<i>Sparganium fallax</i>	NT	A
ヒメミクリ	<i>Sparganium japonicum</i>	NT	A
ヤマトミクリ	<i>Sparganium subglobosum</i>	VU	A

注3. 外来種等の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

③外来種

●:「日本の外来種全種リスト - 侵入生物データベース」における定着している種に主に従った。

④植栽・逸出種

●:スギ等の植林された種もしくは植栽されたものが逸出した種

一部逸出:コムラサキは過年度リストによると「St. 15の夏季にハンノキ林で確認された以外のものは逸出種の可能性がある。」とある

注4. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

植栽・逸出は△とした。

注5. 市民調査で確認された種については、詳細地点の情報はなく、調査地域単位の情報となる。

哺乳類（対象無し）

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	ニホンリス	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>	●					C	
2	モグラ	トガリネズミ	ジネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i>	●					D	
3	ネズミ	ネズミ	カヤネズミ	<i>Micromys minutus</i>	●	●				D	
計	3目	3科	3種		3種	1種	0種	0種	0種	3種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「種の多様性調査(専門家調査)対象種一覧」(1997年、環境省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、

LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

## 鳥類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				市民	非公開			
							①	②	③	④					
1	カモ	カモ	ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	●				VU			△			
2			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>	●				VU	B	●	△			
3			オカヨシガモ	<i>Mareca strepera</i>	●						C				
4			ヨシガモ	<i>Mareca falcata</i>	●						B		●		
5			スズガモ	<i>Aythya marila</i>	●						D				
6			ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>	●						B				
7			ビロードキンクロ	<i>Melanitta stejnegeri</i>	●						B				
8			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>	●						D				
9	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	●					C					
10	ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	●					X	●	△			
11			バン	<i>Gallinula chloropus</i>	●					B	●				
12			オオバン	<i>Fulica atra</i>	●						C				
13			ヒクイナ	<i>Zapornia fusca</i>	●				NT	A			●		
14	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	●					C	●				
15			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	●					D					
16	チドリ	ミヤコドリ	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	●	●				A					
17		チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	●					D	●				
18			ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	●					B			△		
19			ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	●	●					A				
20			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	●				VU	A					
21			コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	●						B				
22			メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	●						C			△	
23			シギ	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	●						A			
24				ハウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	●				VU	A				△
25				チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	●						C			
26				オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	●				VU	C				△
27				オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	●						C			△
28				キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	●						C			△
29		オバシギ		<i>Calidris tenuirostris</i>	●						C			△	
30		キリアイ		<i>Calidris falcinellus</i>	●						B			△	
31		ウズラシギ		<i>Calidris acuminata</i>	●						B			△	
32		トウネン		<i>Calidris ruficollis</i>	●						D			△	
33		ミユビシギ		<i>Calidris alba</i>	●						D				
34		ハマシギ		<i>Calidris alpina</i>	●				NT	B					
35		ソリハシシギ		<i>Xenus cinereus</i>	●						C			△	
36		イソシギ		<i>Actitis hypoleucos</i>	●						A				
37		クサシギ		<i>Tringa ochropus</i>	●						C				
38		キアシシギ		<i>Tringa brevipes</i>	●						C			△	
39		アカアシシギ		<i>Tringa totanus</i>	●				VU	B				△	
40		アオアシシギ		<i>Tringa nebularia</i>	●						B			△	
41		カモメ	ズグロカモメ	<i>Saundersilarus saundersi</i>	●				VU	A			△		
42			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	●				NT						
43			コアシサシ	<i>Sternula albifrons</i>	●				VU	A			●		
44		ミズナギドリ	ウミツバメ	オーストンウミツバメ	<i>Hydrobates tristrami</i>	●				NT			△		
45		コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	●		特天	国内	CR	X	●	△		
46		カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>	●					B		△		
47		ペリカン	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	●					D				
48				チュウサギ	<i>Ardea intermedia</i>	●				NT	B				
49	コサギ			<i>Egretta garzetta</i>	●	●					B				
50	カラシラサギ			<i>Egretta eulophotes</i>					NT	A			△		
51	タカ	タカ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	●				NT	B					
52			ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	●					D					
53			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	●				NT	B					
54			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	●				NT	C					
55			サシバ	<i>Butastur indicus</i>	●	●			VU	A			●		
56			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>	●						C				

57	フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	●						B		●	
58	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	●	●					C			
59	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>		●								
60			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>	●						C			
61	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	●			国内	VU	A				
62	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>		●								
63		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	●						D			
64			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>		●								
65		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	●	●					D			
66		ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>		●								
67			イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i>	●						D			
68		ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	●						D			
69		ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	●						C			
70		ツグミ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	●						A			
71		ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	●						A			
72			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	●						B			
73			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	●						A		△	
74		セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	●						D			
75	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	●						B				
76		イカル	<i>Eophona personata</i>	●						D				
77	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	●						C				
78		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	●						D				
79		オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	●						D				
計	15目	28科	79種		74種	10種	1種	2種	20種	72種	6種	28種		

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本鳥類目録 改訂第8版」(2024年、日本鳥学会)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、

LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員等指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

注4. 市民調査で確認された種については、詳細地点の情報はなく、調査地域単位の情報となる。

両生類（対象無し）

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	<i>Bufo formosus</i>	●					C	
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>	●	●				A	
3			トウキョウダルマガエル	<i>Pelophylax porosus porosus</i>	●	●			NT	B	
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>	●					D	
計	1目	4科	4種		4種	2種	0種	0種	1種	4種	0種

注1. 種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（2024年3月11日、日本爬虫両棲類学会）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

① 「文化財保護法」（1950年、法律第214号）

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年、法律第75号）

国内：国内希少野生動植物種 国内（特一）：特定第一種国内希少野生動植物種 国内（特二）：特定第二種国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種

③ 「環境省レッドリスト2020の公表について」（2020年、環境省）

EX：絶滅種、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧I類、CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④ 「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」（2019年、千葉県環境生活部自然保護課）

X：消息不明・絶滅生物、A：最重要保護生物、B：重要保護生物、C：要保護生物、D：一般保護生物

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●：前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非：市民調査地域（前々回調査）、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△：市民調査地域（前々回調査）、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

爬虫類（対象無し）

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開
							①	②	③	④	
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ	<i>Mauremys japonica</i>	●				NT	A	
2		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus japonicus</i>	●				DD	不足	
3	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>	●					D	
4		トカゲ	ヒガシニホントカゲ	<i>Plestiodon finitimus</i>	●	●				B	
5		カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>	●	●				D	
6		ナミヘビ	ジムグリ	<i>Euprepiophis conspicillatus</i>	●					B	
7			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	●					D	
8			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>	●					C	
9			ヒバカリ	<i>Hebius vibakari</i>	●					D	
10			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>	●					D	
11			クサリヘビ	ニホンマムシ	<i>Gloydus blomhoffii</i>	●					B
計	2目	7科	11種		11種	2種	0種	0種	2種	11種	0種

注1：種名、科の配列等は、主に「日本産爬虫両生類標準和名リスト」（2024年3月11日、日本爬虫両棲類学会）に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、

LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、不足:情報不足

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●：前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△：市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

昆虫類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				市民	非公開
							①	②	③	④		
1	トンボ	イトトンボ	ホソミイトトンボ	<i>Aciagrion migratum</i>	●					B		
2			クロイトトンボ	<i>Paracercion calamorum calamorum</i>	●					D	△	
3			ムスジイトトンボ	<i>Paracercion melanotum</i>	●					B		
4			オオイトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i>	●					A	非	
5		アオイトトンボ	アオイトトンボ	<i>Lestes sponsa</i>	●					C		
6			オツネントンボ	<i>Sympecma paedisca paedisca</i>	●					A	非	
7		サナエトンボ	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	●				NT	B	●	
8			オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	●					B	非	
9			ウチワヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	●					D		
10		ヤンマ	アオヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i>	●				NT	B		
11			クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	●					D		
12			カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	●					B	●	
13			ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>	●					D		
14		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●						
15		トンボ	ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>	●					B		
16			チョウトンボ	<i>Rhyothemis fuliginosa</i>	●	●				D		
17			コノシメトンボ	<i>Sympetrum baccha matutinum</i>	●					D		
18			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		●						
19			マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>	●					D	△	
20			リスアカネ	<i>Sympetrum risi risi</i>	●					B	●	
21	カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>		●						
22	バッタ	バッタ	ツマグロバッタ	<i>Stethophyma magister</i>	●				D			
23		クツワムシ	クツワムシ	<i>Mecopoda niponensis</i>	●				C			
24	カメムシ	セミ	クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>		●					△	
25			アブラゼミ	<i>Graptosaltria nigrofuscata</i>		●						△
26			ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>		●						△
27			ミンミンゼミ	<i>Oncotympana maculaticollis</i>		●						△
28			ニイニイゼミ	<i>Platyleura kaempferi</i>		●						△
29			ヒグラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>		●						△
30			キジラミ	エノキカイガラキジラミ	<i>Celtisaspis japonica</i>	●				NT		
31		コオイムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●				NT			
32		ナガカメムシ	ヒメマダラナガカメムシ	<i>Graptostethus servus</i>	●					D		
33			ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax belogolowi</i>	●					D		
34		ヘリカメムシ	アズキヘリカメムシ	<i>Homoeocerus marginiventris</i>	●					C	△	
35		ツチカメムシ	シロヘリツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i>	●				NT			
36			ヨコヅナツチカメムシ	<i>Adrisa magna</i>	●					C		
37		カメムシ	ルリクチブトカメムシ	<i>Zicrona caerulea</i>	●					C		
38	ツノカメムシ	オオツノカメムシ	<i>Acanthosoma giganteum</i>	●					D			
39	コウチュウ	ハンミョウ	コハンミョウ	<i>Cicindela specularis</i>	●				C			
40		オサムシ	ヒメマイマイカブリ	<i>Carabus(Damaster) blaptoides oxuroides</i>	●					D		
41			タナカツヤハネゴミムシ	<i>Anisodactylus andrewesi</i>	●				DD	C		
42			オオサカアオゴミムシ	<i>Chlaenius pericallus</i>	●				DD	C		
43			オオキベリアオゴミムシ	<i>Epomis nigricans</i>	●					D		
44			ヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites aterrimus</i>	●					D	△	
45		ゲンゴロウ	マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	●			国内(特二)	VU	B	●	
46		ミズスマシ	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	●				NT	C	●	
47		ガムシ	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	●				DD	D	●	
48		シデムシ	ベッコウヒラタシデムシ	<i>Eusilpha brunneicollis</i>	●					D		
49		クワガタムシ	ノコギリクワガタ	<i>Prosopocoilus inclinatus</i>		●						
50		タマムシ	ヤマトタマムシ	<i>Chrysochroa fulgidissima fulgidissima</i>		●						
51		ホタル	ヘイケボタル	<i>Aquatica lateralis</i>	●	●				C		
52		ハムシ	キアシネクイハムシ	<i>Donacia bicoloricornis</i>	●					C		
53	スゲハムシ		<i>Plateumaris sericea</i>	●					C			
54	ゾウムシ		ハマベゾウムシ	<i>Aphele gotoi</i>	●					A	△	
55	ハチ	コンボウハバチ	ホシアシブトハバチ	<i>Agenocimbex jucunda</i>	●				DD			
56		コマユバチ	ウマノオバチ	<i>Euurobracon yokohamae</i>	●				NT	C		
57		セイボウ	オオセイボウ	<i>Stibum cyanurum pacificum</i>	●				DD			
58		ドロバチ	キボシトックリバチ	<i>Eumenes fraterculus</i>	●					C		
59		ハキリバチ	クズハキリバチ	<i>Megachile pseudomonticola</i>	●				DD			
60		スズメバチ	モンズズメバチ	<i>Vespa crabro flavofasciata</i>	●				DD			
61	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	<i>Panorpa japonica</i>	●				D			
62	ハエ	ハナアブ	キヒゲアシブトハナアブ	<i>Parahelophilus citricornis</i>	●				B			

63	チョウ	セセリチョウ	ギンイチモンジセセリ	<i>Leptalina unicolor</i>	●					NT				
64			ミヤマチャバネセセリ	<i>Pelopidas jansonis</i>	●						C			
65			オオチャバネセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>	●							B		
66		アゲハチョウ	ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon thunbergii</i>		●								
67		シジミチョウ	ミドリシジミ	<i>Neozephyrus japonicus</i>	●						C			
68			ミヤマシジミ	<i>Plebejus argyrognomon praeterinsularis</i>	●						EN		●	
69		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>		●								
70			ミスジチョウ	<i>Neptis philyra excellens</i>	●						C	●		
71			コムラサキ	<i>Apatura metis substituta</i>	●							C		
72			ゴマダラチョウ	<i>Hestina japonica japonica</i>	●							C		
73			アカボシゴマダラ名義タイプ亜種	<i>Hestina assimilis assimilis</i>		●								
74		ヤガ	コシロシタバ	<i>Catocala actaea</i>	●						NT			
75			キシタアツバ	<i>Hypena claripennis</i>	●						NT			
計		9目	41科	75種		61種	16種	0種	1種	19種	50種	2種	20種	

注1. 種名、科の配列等は、主に日本産野生生物目録「本邦産野生動物植物の種の現状-無脊椎動物編II」(1995、環境庁)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動物植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動物植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動物植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動物植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧II類、EN:絶滅危惧III類、VU:絶滅危惧IV類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)

特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物

②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)

外:国外外来種、内:国内外来種

定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種

緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種

注4. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

注5. 市民調査で確認された種については、詳細地点の情報はなく、調査地域単位の情報となる。

魚類

No.	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開	
							①	②	③	④		
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ	スナヤツメ類	<i>Lethenteron sp.</i>	●				VU	A	●	
2	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	●				EN	C		
3	コイ目	コイ科	ギンブナ	<i>Carassius sp.</i>	●					D	●	
4			ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	●				NT	B	非	
5			アブラボテ※2	<i>Tanakia limbata</i>	●				NT			
6			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	●						D	
7			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	●						C	●
8			ツチフキ※2	<i>Abbottina rivularis</i>	●					EN		
9			ドジョウ科	ドジョウ類※1	<i>Misgurnus anguillicaudatus sp.complex</i>	●				(NT/DD)		●
10				キタドジョウ	<i>Misgurnus sp. (Clade A)</i>	●				DD		非
11		フクドジョウ科	ホトケドジョウ	<i>Lefua echigonia</i>	●				EN	C	●	
12	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	●					B	●	
13	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	●				VU	B	●	
14	スズキ目	ハゼ科	ヒモハゼ	<i>Eutaeniichthys gilli</i>	●				NT		△	
15			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	●						D	
16			キララハゼ※3	<i>Acentrogobius viridipunctatus</i>	●					VU		△
17			ビリンゴ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	●						D	△
18			チクゼンハゼ	<i>Gymnogobius uchidai</i>	●					VU	C	△
19			エドハゼ	<i>Gymnogobius macrognathos</i>	●					VU	C	△
計	6目	8科	19種		19種	0種	0種	0種	13種	13種	14種	

注1. 種名、科の配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和5年度生物リスト)」(2023年、国土交通省)に従った。

注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。

①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)

特天:特別天然記念物、天:天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)

国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

③「環境省レッドリスト20の公表について」(20年、環境省)

EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、

LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編29年改訂版」(29年、千葉県環境生活部自然保護課)

X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物

注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。

●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。

非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種

△:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種

※1 ドジョウ類は「ドジョウ」または「キタドジョウ」のいずれかであるが、確認個体が雌であり、同定形質が不明瞭であったため「ドジョウ類」とした。

なお、③の選定基準において「ドジョウ」はNT、「キタドジョウ」はDDに該当する。

※2 アブラボテ、ツチフキは国内移入種と考えられるため、公開とした。

※3 キララハゼは環境DNAによる調査でのみ出現したが、国内では沖縄本島でのみ記録されている種であり、近縁別種の可能性がある。

底生動物

No.	綱名	目名	科名	種名	学名	重要種	指標種	重要種選定基準				非公開	
								①	②	③	④		
1	腹足綱	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i>	●	●			VU	D		
2				ヒメタニシ	<i>Sinotaia histrica</i>		●						
3		真後鰓目	カノコキセワタガイ科	ヤミヨキセワタ	<i>Melanochlamys fukudai</i>	●				VU		△	
4				クダタマガイ科	マツシマコメツブ	<i>Decorifer matusimanus</i>	●					B	△
5				オオシイノミガイ科	ムラクモキジビキガイ	<i>Japonactaeon nipponensis</i>	●				NT	B	△
6		原始紐舌目	Viviparidae科	サキグロタマツメタ	<i>Laguncula pulchella</i>	●				CR+EN		△	
7				吸腔目	タマガイ科	ゴマフダマ	<i>Paratectonatica tigrina</i>	●			CR+EN		△
8		吸腔目	カワグチツボ/ワカウラツボ科	カワグチツボ	<i>Fluviocingula elegantula</i>	●				NT	D	△	
9				ミズゴマツボ科	ウミゴマツボ	<i>Stenothyra edogawensis</i>	●				NT	D	△
10				ムシロガイ/オリイレヨフバイ科	ムシロガイ	<i>Nassarius livescens</i>	●				NT	C	△
11				イトカケガイ科	クレハガイ	<i>Epitonium clementinum</i>	●				NT		△
12				ニシキウズ/ニシキウズガイ科	イボキサゴ	<i>Umbonium moniliferum</i>	●				NT	C	△
13	二枚貝綱			汎有肺目	モノアラガイ科	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i>	●				NT	A
14		イシガイ目	イシガイ科	タテボシガイ	<i>Nodularia nipponensis</i>	●					D		
15				イシガイ	<i>Unio douglasiae nipponensis</i>	●						D	
16		異靱帯目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula gracilis</i>	●					C	△	
17		オオノガイ目	オオノガイ科	オオノガイ	<i>Mya (Arenomya) arenaria oonogai</i>	●				NT		△	
18		マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>	●				VU	A	●	
19				シオサザナミガイ/リュウキュウマスオガイ科	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	●					B	△
20				ニッコウガイ科	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>	●				NT		△
21				マルスダレガイ科	オキシジミ	<i>Cyclina sinensis</i>	●					C	△
22		軟甲綱	エビ目	ヌマエビ科	ミゾレヌマエビ	<i>Caridina leucosticta</i>	●					A	●
23	テナガエビ科			テナガエビ	<i>Macrobrachium nipponense</i>	●						D	
24				スジエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	●						D	
25	サワガニ科			サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	●					C	●	
26	ベンケイガニ科			アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>	●						D	△
27				クロベンケイガニ	<i>Orisarma dehaani</i>	●						D	△
28				ベンケイガニ	<i>Orisarma intermedium</i>	●						B	△
29	モクズガニ科			アシハラガニ	<i>Helice tridens</i>	●						D	△
30				モクズガニ	<i>Eriocheir japonica</i>	●						D	
31	コブシガニ科			マメコブシガニ	<i>Pyrhila pisum</i>	●						D	△
32	コメツキガニ科			チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	●						D	△
33				コメツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	●						D	△
34	オサガニ科			オサガニ	<i>Macrophthalmus (Macrophthalmus) abbreviatus</i>	●						B	△

35	昆虫綱	トンボ目	イトトンボ科	セスジイトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i>	●						B	●			
36			カワトンボ科	アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>	●							A	非		
37			ヤンマ科	クロスジギンヤンマ	<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	●								D	△	
38				ネアカヨシヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i>	●							NT	B	●	
39				カトリヤンマ	<i>Gynacantha japonica</i>	●								B	●	
40				サナエトンボ科	キイロサナエ	<i>Asiagomphus pryeri</i>	●							NT	B	●
41					オナガサナエ	<i>Melligomphus viridicostus</i>	●								B	●
42			ホンサナエ		<i>Gomphus postocularis</i>	●								B	●	
43			ウチワヤンマ		<i>Sinictinogomphus clavatus</i>	●								D		
44			オニヤンマ科	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>		●									
45			トンボ科	ハラビロトンボ	<i>Lyriothemis pachygastra</i>	●								B		
46				アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>		●									
47				マイコアカネ	<i>Sympetrum kunckeli</i>	●								D		
48		カメムシ目	コオイムシ科	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i>	●						NT				
49		コウチュウ目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i>	●					国内(特二)	VU	X	●		
50				マルガタゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i>	●					国内(特二)	VU	B	●		
51				コマルケシゲンゴロウ	<i>Hydrovatus acuminatus</i>	●						NT	B	●		
52			ミズスマシ科	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>	●						NT	C	●		
53			コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	<i>Haliphus sharpi</i>	●						VU	B	●		
54			ガムシ科	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>	●						DD	D	●		
55			ゾウムシ科	ウキクサミズゾウムシ	<i>Tanysphyrus brevipennis</i>	●							B	●		
計		4綱	13目	39科	55種	52種	4種	0種	2種	23種	45種	42種				

- 注1. 分類、配列等は、主に「河川水辺の国勢調査 令和6年度生物リスト」（令和6年、水情報国土データ管理センター）及び「BISMaL(Biological Information System for Marine Life)」（2025年11月20日閲覧、国立研究開発法人海洋研究開発機構）に従った。
- 注2. 重要種の選定基準は以下のとおりである。  
 ①「文化財保護法」(1950年、法律第214号)  
 特天:特別天然記念物、天:天然記念物  
 ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992年、法律第75号)  
 国内:国内希少野生動植物種 国内(特一):特定第一種国内希少野生動植物種 国内(特二):特定第二種国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種  
 ③「環境省レッドリスト2020の公表について」(2020年、環境省)  
 EX:絶滅種、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:絶滅のおそれのある地域個体群  
 ④「千葉県の保護上重要な野生生物 千葉県レッドリスト動物編2019年改訂版」(2019年、千葉県環境生活部自然保護課)  
 X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物
- 注3. 外来種の選定基準は以下のとおりである。  
 ①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の一部を改正する法律」(2022年、法律第42号)  
 特外:特定外来生物、条特外:条件付特定外来生物  
 ②「環境省報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト」(2015年、環境省)  
 外:国外外来種、内:国内外来種  
 定:定着予防外来種、総:総合対策外来種、産管:産業管理外来種  
 緊:緊急対策外来種、重:重点対策外来種、他:その他の外来種
- 注3. 公開、非公開種については以下のとおりである。  
 ●:前々回調査及び前回調査または今回冬季、春季、夏季専門調査において、確認された調査地域について非公開とされた種。水色の種は委員指摘を示す。  
 非:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について非公開とする種  
 △:市民調査地域(前々回調査)、今回市民調査または今回秋季専門調査にて新たに確認された種のうち、確認された調査地域について公開とする種